

有限会社エースフロント

運輸安全マネジメント報告書

2025/2/18



(有)エースフロント 【りこばす】

運輸安全マネジメントに関する取り組みについて

I. 運輸の安全に関する方針

りこばす安全方針

1. 「無事故と安心安全の輸送」
2. 「優しさと思いやりの心で」

1. 輸送の安全に関する基本方針

- (1) 社長は、輸送の安全確保が事業経営の根幹であること深く認識し、社内において輸送の安全の確保に主導的な役割を果たします。

また、安全管理体制が適切・円滑に運営されるように各部門に対して、確実な指示を行います。

- (2) 社長は、営業現場における安全に関する声に真摯に耳を傾けるなど現場の状況を踏まえつつ、全従業員に対して輸送の安全確保が最も重要であるという『安全最優先』の意識を徹底させます。

- (3) 会社は、輸送の安全に関する計画の策定、実行、チェック、改善を確実に実施し、安全対策の不断を見直すとともに全従業員が一丸となって業務を催行することにより、絶えず輸送の安全性の向上に努めてまいります。また、輸送の安全に関する情報については、積極的に公表いたします。

2. 輸送の安全に関する方針重点施策

輸送の安全に関する方針に基づき、次に掲げる事項を実施いたします。

- (1) 輸送の安全の確保が最も重要であるという意識を徹底し、関係法令及び安全管理規定に定められた事項を遵守いたします。
- (2) 輸送の安全に関する費用支出及び投資を積極的かつ効率的に行います。
- (3) 輸送の安全に関する内部監査を行い、必要な是正・改善措置及び予防措置を講じます。
- (4) 輸送の安全に関する情報の連絡体制を確立し、社内において必要な情報を速やかに伝達し、共有いたします。
- (5) 輸送の安全に関する教育及び研修の具体的な計画を策定し、これを適格に実施いたします。
- (6) 産業医の指導のもと、健康管理の充実により事故防止を図ります。

3. 輸送の安全に関する目標及び当該目標の達成状況及び統計

令和6年度に設定いたしました目標及び達成状況は下記のとおりです。

目標： 人身事故件数 0件（死者 0件 重傷者 0件 軽傷者 0件）

物損事故件数 0件 物損金額 0円

類型別 死傷 0件 衝突 0件 転落 0件 その他 0件

達成状況： 人身事故件数 0件（死者 0件 重傷者 0件 軽傷者 0件）

物損事故件数 0件 物損金額 0円

類型別 死傷 0件 衝突 0件 転落 0件 その他 0件

過去統計（H25年度～R06年度12月現在）

達成状況： 人身事故件数 0件（死者 0件 重傷者 0件 軽傷者 0件）

物損事故件数 0件 物損金額 0円

類型別 死傷 0件 衝突 0件 転落 0件 その他 0件

有責重大事故『ゼロ』

目標		
平成25年度	重大事故件数	0件
平成26年度	重大事故件数	0件
平成27年度	重大事故件数	0件
平成28年度	重大事故件数	0件
平成29年度	重大事故件数	0件
平成30年度	重大事故件数	0件
令和元年度	重大事故件数	0件
令和2年度	重大事故件数	0件
令和3年度	重大事故件数	0件
令和4年度	重大事故件数	0件
令和5年度	重大事故件数	0件
令和6年度	重大事故件数	0件

実績		
平成25年度	重大事故件数	0件
平成26年度	重大事故件数	0件
平成27年度	重大事故件数	0件
平成28年度	重大事故件数	0件
平成29年度	重大事故件数	0件
平成30年度	重大事故件数	0件
令和元年度	重大事故件数	0件
令和2年度	重大事故件数	0件
令和3年度	重大事故件数	0件
令和4年度	重大事故件数	0件
令和5年度	重大事故件数	0件
令和6年度	重大事故件数	0件(12月現在)

4. 輸送の安全に関する計画、教育、実施

(1) 運転者適性診断、適齢診断の受診

適性診断 3年に1回 適齢診断 2年以内に1回に受診、診断結果を基に年齢、特性に応じた教育をおこないます。

(2) 月例乗務員会議実施(毎月)

乗務員に対し、年間教育計画に基づき教育を行います。

(3) 安全啓蒙活動

全国・地域の交通安全運動に合わせて事故防止活動

(4) 健康維持に関して

健康診断を年2回受診、健康管理の指導

(5) 内部監査の実施

年1回実施し、改善につとめる。

(6) 運輸安全マネジメントについて・年間事故防止目標について・健康管理・飲酒根絶について・事故防止指導(他社事故事例)

5. 安全統括管理者、安全管理規定

(1) 安全統括管理者：岡田政行

(2) 安全管理規定：安全管理規定のとおり

6. 輸送の安全に関する内部監査及び改善策、今後の取り組み

(1) 内部監査での指摘・改善事項は監査報告書にして、社長に結果報告する。

(2) 安全統括管理者は、監査報告書の指摘・改善事項の必要性などを検討して、経営トップに課題、提案を含めて報告する。

(3) 常に見直しを実施し、継続的改善して安全指針等の改訂を行う。

(4) ヒヤリハット情報の収集方法の検討

(5) 乗務員健康管理体制の充実(脳疾患・心疾患・視野検査等の受診)

(6) 事故・飲酒運転防止に効率的な機器類への積極的な投資。

(7) 無線機の導入の検討(2台導入のため増大)

(8) コロナ感染予防対策への積極的な投資

(9) 除雪機の導入

(10) 2025年度冬までに4駆車両2台導入

(11) 乗務員確保に向けての検討

(12) タイヤチェーン又はチェーンクロスの導入

CH夏タイヤ2025年6月までに購入

ローザ夏タイヤ2026年5月購入

(13) 携帯型心電計の導入(35,000円)

(14) 居眠り警報装置の導入(居眠りウオッチャーひとみちゃん30,000円程度)

2025/2/18

有限会社エースフロント
代表取締役 岡田 政行

重大事故等緊急連絡体制図

